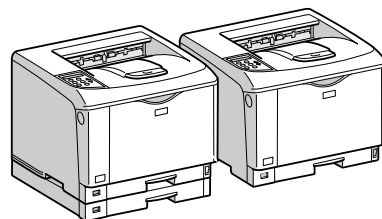
InfoPrint

1736J/1756J

ハードウェアガイド

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ずプリンター本体同梱の『安全に正しくお使いいただくために』をお読みください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

商標

- AppleTalk、Macintosh、TrueType は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の登録商標または商標です。
- BMLinkS は、社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会の登録商標です。
- EPSON、ESC/P は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- IBM、DOS/V は米国 IBM Corporation の登録商標です。
- Microsoft、Windows、WindowsNT、MS-DOS は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- NEC は、日本電気株式会社の登録商標です。
- NetWare は、米国 Novell, Inc. の登録商標です。
- PC-98NX シリーズは、日本電気株式会社の製品です。
- PC-PR201H シリーズは、日本電気株式会社の商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。
- *Windows® 95 の製品名は、Microsoft® Windows® 95 です。
- *Windows® 98 の製品名は、Microsoft® Windows® 98 です。
- *Windows® Me の製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition (Windows Me) です。
- *Windows® 2000 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® 2000 Server
  Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
- *Windows® XP の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
- *Windows Server® 2003 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition
- *Windows Server® 2003 R2 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition
- *Windows NT® 4.0 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0

平成書体は、（財）日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。他のフォントと同様、フォントとして無断複製することは禁止されています。

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。
1.複製、印刷することが禁止されているもの
（見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。）
・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
・日本や外国の郵便切手、印紙
（関係法律）
・紙幣類似証券取締法
・通貨及証券模造取締法
・郵便切手類模造等取締法
・印紙等模造取締法
・（刑法 第１４８条 第１６２条）
2.不正に複製、印刷することが禁止されているもの
・外国の紙幣、貨幣、銀行券
・株券、手形、小切手などの有価証券
・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
（関係法律）
・刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
3.著作権法で保護されているもの
著作権法により保護されている著作物（書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など）を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

* 画面の表示内容やイラストは機種、オプション、機能の設定によって異なります。

目次

1. 各部の名称とはたらき

2. オプションを取り付ける

3. パソコンとの接続

4. インターフェース設定

5. 用紙のセット

6. 消耗品の交換

7. 清掃・調整

8. 困ったときには

9. 紙づまりの対処

10. 付録

安全に正しくお使いいただくために

「安全に正しくお使いいただくために」は、冊子として同梱されています。

レーザーの安全性

この装置は、JIS C6802（IEC60825-1）「レーザー製品の安全基準」に基づく“クラス 1 レーザー製品”に該当します。すなわち Infoprint 1736J/1756J は、危険なレーザー光を出さないレーザー製品のクラスに属しています。これを実現するため、本装置では、レーザー光が人体に届かないようにする（つまり、クラス I の限度内におさまるようにする）ために必要な保護筐体、インターロック、および走査保護がそなえられています。
工具の使用を必要とする各種の機械カバーの脱着、交換は訓練を受けた保守担当員のみが行います。操作員によるレーザーの調節はありません。

電波障害自主規制届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠危険
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

安全表示の例です。

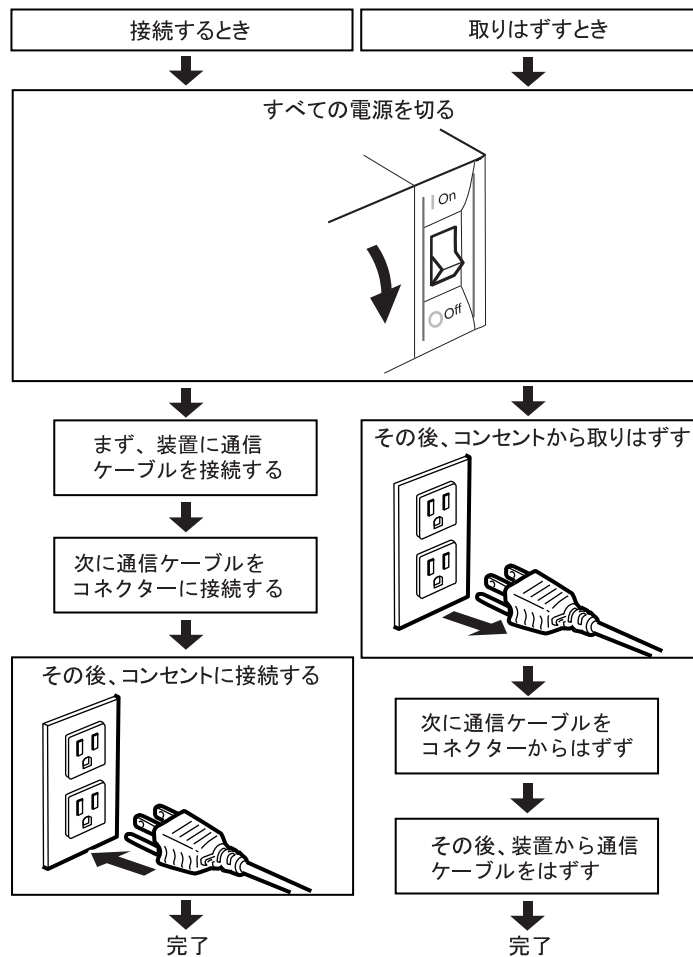
	△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 ⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。 （左図の場合は、“ 分解禁止 ” を表します）

	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 ●の中に具体的な指示内容が描かれています。 （左図の場合は、“ アース線を必ず接続すること ” を表します）

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠危険

・電源コード、電話線、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または装置を接続するときには、下記の手順にしたがってケーブル類の接続または、取りはずしを行ってください。
・本機は、安全のため３線電源コードおよび３ピン電源プラグを使用しています。
・電源プラグは、必ず接地端子付きコンセントに差し込んで使用してください。

・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
・延長コードの使用は避けてください。
・電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災や感電の原因になります。
・電源プラグの刃に金属などが触れると火災や感電の原因になります。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

・コンピュータの構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続、テレビのアンテナ接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。

・電源プラグは、正しく接地された３ピンのコンセントに確実に差し込んでください。

・機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

・本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分やレーザー光源があり、感電や失明の原因になります。機械内部の点検・調整・修理はサービス実施店、または弊社サービス技術員に依頼してください。
・この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。また、レーザー放射により失明の恐れがあります。

・万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてサービス実施店、または弊社サービス技術員に連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
・万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてサービス実施店、または弊社サービス技術員に連絡してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

・機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。
・この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。

・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器を火中に投入しないでください。トナー粉がはねて、やけどの原因になります。使用済みのトナーカートリッジは、トナー粉が飛び散らないように袋に入れて保管してください。保管したトナーカートリッジは、IBM ビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当員または弊社サービス技術員へお渡しいただき、当社の回収・リサイクル活動にご協力ください。なお、お客様で処理をされる場合は、一般のプラスチック廃棄物と同様に処理してください。

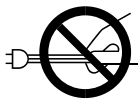
・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、火気のある場所に保管しないでください。引火して、やけどや火災の原因になります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠注意

・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

・プリンター本体は約 23.9kg（標準トレイが 1 段の機種は約 20.2kg）あります。
・機械を移動するときは、二人以上で両側面の中央下部にある取っ手を持ち、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。
・長距離を移動するときは、サービス実施店、または弊社サービス技術員に相談してください。
・増設トレイユニットを取り付けているときは、本機と増設トレイユニットは固定されていないので別々に移動してください。また、本機を持ち上げるときは、増設トレイユニットから確実に離れていることを確認してください。
・両面ユニットを取り付けているときは、安全のために取り外してから移動してください。

・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
・お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いてください。

・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

・電源プラグを差し込んだり抜いたりするときは、プリンターの電源スイッチを切ってから行ってください。

・電源プラグは年に 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

・同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。

・狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、適宜換気をしてください。

・ステープラーの針がついたままの用紙の再利用や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

・機械内部には高温の部分があります。「高温注意」のラベルの貼ってある周辺には触れないでください。やけどの原因になります。

・オプションの取り付け、取り外しは、プリンターの電源スイッチが切れていること、電源プラグがコンセントから抜かれていること、インターフェースケーブルがプリンターから抜かれていること、また、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

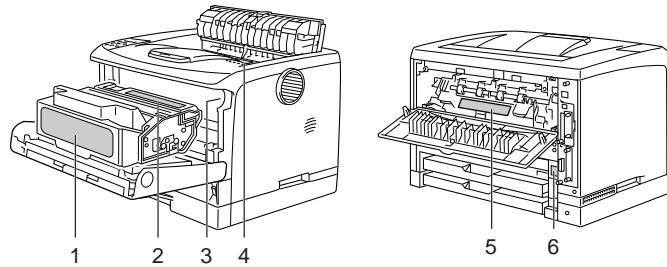
・定着ユニットは高温になります。定着ユニットの交換はプリンター本体の電源を切ってから約１時間待ち､定着ユニットが常温になってから行ってください。やけどの原因になります。

・レジストローラー周辺清掃は、プリンターの電源が切れていて、プリンター本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

・トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

・トナーカートリッジ等の消耗品や部品は、ＩＢＭ 指定の製品により、プリント品質を評価しています｡品質維持のため、ＩＢＭ 指定のトナーカートリッジ、または交換部品をご使用ください。

⚠注意 のラベルまたは刻印の位置について

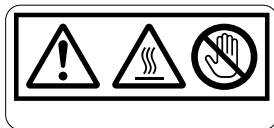
本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、⚠**注意**ラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。

1) トナーの操作注意

トナー(使用済みトナーを含む)または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

トナー（使用済みトナーを含む）または、トナーの入った容器は、子供の手に触れないようにしてください。

2) トナーの火中投棄警告

トナー又はトナーの入った容器を直接焼却炉等の火中に投入しないでください。火傷をするおそれがあります。

3) 定着ユニットの高温注意（トナーカートリッジと定着ユニットの間にある遮へい板に貼られています）

（機械内部には）高温の部分があります。このラベルが貼ってある周辺には触れないでください。やけど（けが）の原因になります。

4) 定着ユニットの高温注意（ 本体排紙口カバーを開けたところから見える定着ユニットに貼られてます）

（機械内部には）高温の部分があります。このラベルが貼ってある周辺には触れないでください。やけど（けが）の原因になります。

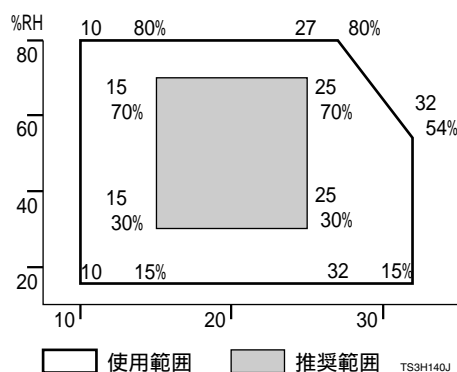
5) 定着ユニットの高温注意

（機械内部には）高温の部分があります。このラベルが貼ってある周辺には触れないでください。やけど（けが）の原因になります。

6) 本体移動時の重量注意

プリンター本体は 18kg 以上あります。機械を移動するときは、2 人以上で両側面の中央下部にある取っ手を持ちゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

使用上のお願い

・温度や湿度が以下の図で示す範囲に収まる場所に設置してご使用ください。

・寒い所から暖かい所に移動させたり、温度変化の激しい場所に設置すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、１時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
・プリンター内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口や給気口をふさがないようにしてください。
・前カバーを開けたままにしないでください。
・印刷中に前カバーや手差しトレイ（マルチ）を開けたり、プリンターを移動したりしないでください。
・印刷中は給紙トレイを引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。

・クリップなどの異物がプリンターの中に入らないようにしてください。
・印刷中に電源を切ったり、電源ケーブルを抜かないでください。
・印刷中にプリンターの上で紙を揃えるなど外的ショックを与えないでください。
・電源を入れたままで 500 枚増設トレイユニットを取り外さないでください。故障の原因になります。
・日本国外へ移動された場合は、保守サービスの責任を負いかねますのでご了承ください。

本機の使用量について

本機の使用量は次のように想定されております。
・1 日の使用時間　：　8 時間
・1ヶ月の使用時間　：　176 時間
・1ヶ月あたりの印刷枚数 (A4 片面換算)　：　1,500 枚
これよりも多くご使用される場合、機械的消耗による印字品質の低下が発生することがあります。これを防止するためには機械部品の一部に交換が必要になる場合があります。詳しくは保守サービス員、保守サービス会社、またはお買い上げの販売店にご相談ください。

エネルギースタープログラム

エネルギースタープログラム対応について説明します。

国際エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国の間で統一されています。

♦ **低電力機能**

- 本機には、低電力機能として「省エネモード」が搭載されています。一定時間本機を操作しない時間が続いたとき、自動的に電力の消費量が低く抑えられます。省エネモードは、パソコンから印刷の指示をするか、操作部のキーを押すと解除されます。
- 省エネモードへの移行時間は、システム設定メニューで変更します。システム設定の変更のしかたは、『ソフトウェアガイド』「システム設定メニュー」を参照してください。

♦ **機能の仕様**

低電力機能	消費電力	4.5W
	省エネモードへの移行時間	5 分

再生紙

エネルギースタープログラムでは、環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは、IBM ビジネスパートナー、製品販売店、弊社営業担当員または弊社サービス技術員にご相談ください。

使用説明書について

本機を使用するためにお読みいただく使用説明書と内容は以下のとおりです。

使用説明書の分冊構成

お使いになる目的に応じて、必要な使用説明書をお読みください。

♦ 安全に正しくお使いいただくために

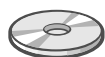
製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するための安全上の注意事項が記述されています。
製品を操作する前には、必ずお読みいただくとともに必要に応じ本書を参照できるよう保管しておいてください。

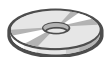
♦ かんたんセットアップ

本機に同梱されています。プリンターを梱包箱から取り出し、パソコンと接続、プリンタードライバーをインストールするまでの手順を説明しています。
オプションを購入された方は、本書の「オプションを取り付ける」もあわせてお読みください。

♦ クイックガイド

本機に同梱されています。困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについて説明しています。困ったときにすばやく対処できるよう、プリンターの近くに常備しておいてください。

♦ ハードウェアガイド（本書）

オプションの接続方法や用紙に関する情報、消耗品の交換手順、印刷がはじまらないとき・思いどおりに印刷できないときの解決方法、紙づまりの処置など、本機を使用する上で重要な情報がまとめられています。必要に応じてご活用ください。

◆ ソフトウェアガイド

プリンタードライバーのインストール手順や設定方法を説明しています。使用しているパソコンに対応する部分をお読みください。

◆ 管理者の方へ

本機に同梱されています。管理者の方への補足情報です。管理者が閲覧および保管してください。

使用説明書の読み方

同梱の使用説明書の記載内容は以下のとおりです。
目的に合わせて各分冊の説明をお読みください。

○：必ずお読みください。
△：必要に応じてお読みください。

かんたんセットアップ	
プリンターを設置してからパソコンと接続するまでの手順	○
安全に正しくお使いいただくために	
製品を安全に正しくお使いいただくための注意事項の説明	○
ハードウェアガイド	
1. 各部名称とはたらき 本体各部の説明、操作パネルやキーの名称とそのはたらき	○
2. オプションを取り付ける SDRAMモジュールや増設トレイユニットなど各オプションの取り付け方法	△
3. パソコンとの接続 ケーブル接続方法	○
4. インターフェース設定 イーサネットの接続方法	△
5. 用紙のセット 使用できる用紙の種類と注意事項、用紙のセット方法	○
6. 消耗品の交換 トナーカートリッジの交換方法	△
7. 清掃・調整 清掃時の注意・各種調整方法	△
8. 困ったときは エラーメッセージが表示されたときや、思いどおりに印刷できないとき	△
9. 紙づまりの対処 用紙がつまったとき	△
10. 付録 保守・運用方法、消耗品一覧、仕様、用語解説など	△

ソフトウェアガイド

1. 印刷するための準備 各接続の設定方法	○
2. プリンタードライバー画面と設定方法 設定画面の表示方法	○
3. いろいろな印刷 試し印刷や、機密印刷の方法	○
4. 用紙に独自の名前をつけて使用する 登録・使用方法	△
5. プリンター本体の設定 操作パネルを使用する設定方法	△
6. 機器の監視 ネットワーク経由での監視	△
7. プリントサーバーの準備	△
8. Windowsの補足情報 ファイル直接印刷の方法	△
9. Mac OSで使う 各種設定方法	△
10. UNIXで使う 各種設定方法	△
11. 付録 付属ソフトウェアの説明など	△

クイックガイド

困ったときの対処方法や、消耗品の交換などについての説明	△

管理者の方へ

本機のセキュリティ機能について、管理の方への補足情報です。	○

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠危険

※安全上のご注意についての説明です。
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

※安全上のご注意についての説明です。
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

重要

機能をご利用になるときに留意していただきたい項目を記載しています。紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になる項目も記載していますので、必ずお読みください。

補足

機能についての補足項目、操作を誤ったときの対処方法などを記載しています。

参照

説明、手順の中で、ほかの記載を参照していただきたい項目の参照先を示しています。
各タイトルの一番最後に記載しています。

[ ]
キーとボタンの名称を示します。

『 』
本書以外の分冊名称を示します。

お使いになる前に

各機種で設置・設定が可能な装備・機能について説明します。
本書の説明は、Infoprint 1756J を対象に記載しています。

補足

- 本書では、各機種を以下のように記載しています。
  - Infoprint 1756J → 1756J または、標準トレイが２段の機種
  - Infoprint 1736J → 1736J または、標準トレイが 1 段の機種

各機種による性能・機能の違い

機種ごとのおもな性能 / 機能の差異、オプション構成の差異は以下の表のとおりです。詳細については、「仕様」を参照してください。

- 性能

商品名	Infoprint 1756J	Infoprint 1736J
印刷速度	35ppm	28ppm
印刷解像度	400dpi/600dpi/1200dpi	
ROM	32MB	
RAM (標準)	192MB	
RAM (MAX)	384MB	
150 枚トレイ	あり	なし
プリンター言語	PJL/RPCS	
暗号化モジュール	あり	
オプションSDカード用スロット	あり（2 スロット）	
インターフェース（標準）	Ethernet (10/100 Base) IEEE1284/ECP USB 2.0 ※ネットワーク対応	

参照

- P.165 「仕様」